

令和 7 年 第 3 6 回高坂丘陵地区夏祭り
第 4 回全体会議（反省会）議事録

- 日 時：令和 7 年 8 月 30 日（土） 10:00～12:00
- 場 所：高坂丘陵地区センター 和室 大広間
- 参加者：松田実行委員長・副支部長・部門責任者・部門推進委員
・会計（夏祭り）・各自治会責任者 計 43 名
- 配布資料：会議次第他関係資料

1. あいさつ 松田実行委員長

皆様のご協力のもと無事終了することができました。感謝申し上げます。
来年度に向けて良かった点、反省点、改善点について話し合いたいと思います。

2. 報告・反省及び来年度への申し送り

■ 本部

- ・ラッキーくじの商品券は地域通貨「ぼたん圓」を渡した（市内限定）
- ・法被の色で実行委員は「緑」にするなど統一したほうが良い
- ・白山中生徒さん（司会・吹奏楽部等）は飲み物の代わりに全模擬店使用可能な引換券を渡すなど工夫したほうが良い（食事時間がない）
- ◎アンケート結果について（web アンケートスタッフ集計資料により説明）
 - ・60 名中 20 名回答（回答率 33%）
 - ・委員を経験して楽しかった・まあまあ楽しかった（7 割）
 - ・次回以降も是非やりたい・機会があればやってみたい（5 割）
 - ・委員会を自治会役員と推進委員（経験者）とで組織して良かった（5 割）
 - ・コンテンツについて楽しかったと思うものは「吹奏楽 14 人」「丘陵太鼓 14 人」
 - ・コンテンツについて今後採用してみたいのは「ビンゴ 8 人」
 - ・キッチンカー導入は自治会とタイアップ出店（11 人）、台数増やしてよい（8 人）
- （提案・感想・意見）
 - ・会場と民家との間の道路に路駐車あり苦情がきた
 - ・緑の法被が不足している
 - ・暑さ対策を強化する
 - ・開催時期の工夫が必要である（秋の 11 月～12 月開催の検討）
 - ・夏祭り後の片づけ期日を守る（テント片づけ）
 - ・自治会員の高齢化が進むので若手の役員等の手当てなど運営方法の工夫が必要
 - ・みこしの担ぎ手は外部支援より地元の担ぎ手が必要

■ 企画

- ・順調にいった、会場係等応援に感謝、サポート体制が良かった
- ・子供みこしの男子が体調不良になり母の会メンバーの協力でセンター救護室に運ぶ（感謝）
- ・前受金 46 万円の内、支出は約 43 万円となる（イベント数の減少による）

■ 広報・渉外

- ・資料により説明
- ・招待者：（敬称略）森田光一・山口晋・坂本祐之輔・松坂喜浩・横川雅也
鈴木健一・田中二美江・横田正芳 他 計 15 名
- ・協賛金 525,000 円 + 当日の祝い金 57,000 円 + 手ぬぐい販売 5,200 円 合計 587,200 円

- ・協賛ボード、立看板は継続的に使用できるように工夫して作成する

■ 会場

- ・資料により説明
- ・大きな問題なく無事終了した。
- ・子供用鉢巻きが不足するので来年度は考慮する

■ 警備・救護

- ・資料により説明
- ・事故やトラブルはなかった
- ・警備担当者が識別しにくいので腕章をつけるなど来年は工夫する
- ・救護の発生事案は4件（熱中症疑い・気分不良・擦り傷・転落負傷）
転落負傷者は看護師さんの適切な処置後に救急車要請し医療機関へ搬送、
その後の負傷状況等は本部にて把握して適切に手続きする予定である
- ・開始時間前に救護対応が発生したため来年度は開始時間の前倒しを検討する
- ・看護師経験者が高齢などのため確保が難しい（今回は看護師は地区外で3名依頼）
- ・消毒液の設置は導線を考慮した最適な場所にする（分かりにくかった）

■ 模擬店

- ・問題なく終了、良好であった
- ・法被は返却してください

■ 会計（夏祭り）

- ・精算等終了後に報告する

■ その他

- ・委員のネームプレート・USBメモリは本部へ返却ください
- ・ご意見・ご要望等があれば本部実行委員・担当責任者等にご連絡ください

3. 慰労会（反省会）の実施について

- ・慰労会（反省会）の実施

日時：9月13日（土） 16：00

場所：HOP-1（高坂駅大東大バス乗り場前）

会費：2,000円

